



福祉協力校だより合併号



平成27年度

飛騨市健康と福祉のつどい標語優秀作品

心づかい やさしい一言 自分から

古川西小学校五年 古田 豪

お弁当 作って配達 笑顔の花さく

古川小学校五年 野田 光砂

あいさつは きずな深める 合い言葉

河合小学校六年 中屋 力哉

ぼくの作ったボランティア弁当 元気パワーが てんこ盛り

宮川小学校五年 藤戸なおや

さしのべる 温かい手に「ありがとう」

神岡小学校五年 荒井 晴凧

あいさつは してもされても きもちいい

山之村小学校三年 中井 玲太

Contents

中学生による福祉意見／福祉標語	P 1～6
社会福祉協議会長表彰者	P 7
子どもぞうきんコンテスト	P 8
トピックス	P 9
介護サポーター募集／クイズコーナー	P 10
各種相談事業／寄付御礼	P 11
サロン交流会	P 12

平成27年度
福祉意見
優秀作品

11月8日(日)に古川町総合会館において、飛騨市と共催で「飛騨市健康と福祉のつどい」を開催しました。会場では、市内の中学生の意見発表や小学生の福祉標語の掲示を行い、健康の喜びと、地域福祉の重要性について、関心を深めていただくことができました。

中学生の意見発表では、飛騨市の将来を担う若者の学校や家庭、将来についての考えに、来場者は真剣に耳を傾けてみえました。

また、本年は3年に一度の社会福祉協議会長表彰を行い、飛騨市の福祉推進に長年ご尽力いただいた民生委員児童委員及び主任児童委員、民間社会福祉施設等役職員として長年にわたりご活躍された方を表彰させていただきました。

講演会では、広瀬光治さんに、「手むずり」で心と身体の健康を」と題してお話をさせていただきました。受付で手渡された毛糸で指編みのマフラーを編みながら話を聞くということで、皆さん悪戦苦闘しながらも、講演会が終わる頃には世界で一つの素晴らしい指編みマフラーが完成しました。



福祉委員長になつて

古川中学校三年 山之口日菜

福祉という言葉を意識し始めたのは中学に入つてすぐの福祉委員会からのキャンペーンでした。ベルマーク集め、ペットボトルキヤップ集め、暑中見舞いなどがありました。正直一生懸命協力したことはありませんでした。

しかし、そんな私が福祉について真剣に考え始めたのは中学二年になり、私が所属している吹奏楽部でおこなった、老人施設訪問に行つたときからでした。

いろいろな曲を楽しんでもら

たいという思いからたくさん曲を必死になつて練習し覚えしました。本番で、施設の方は笑顔で、とても一生懸命聞いて下さいました。演奏後には「ありがとう」と声をかけて下さりとても嬉しかったです。

また、一人暮らしの方に暑中見舞いのはがきを書いたときに、返信をいただいたりして喜んでもらえたことで、書いた自分もとても幸せな気持ちになることができました。

この二つの出来事から、福祉とは相手がされて嬉しいこと、相手を思つて行う心優しい行動を指すのだと思いました。そこで福祉について考え始めた私は助け合い、支え合うことのできる古川中学校にしたいという思いから福祉委員長に立候補しました。いじ

めはないけれど、差別する言葉を平気で使つたり、仲間にひどい言葉を言つてしまふ、自分たち一部の仲間が良ければそれでいいという学校を少し変えたいと思つたのです。

私が委員長になつて一番大事にしたのは「ありがとうの花」の活動です。簡単に言えば仲間の良さを見つけその人にありがとうを伝えることです。クラスや学年、他学年の仲間がしてくれたことでうれしくなつたり勇気をもつたりすることがあります。そのときにただいい気持ちになるだけでなくそのことに「ありがとう」を伝えたり、紙に書いて残したりしていくことでより仲間からの支えや助け合いを実感できると思つたのです。

高齢者や体の不自由な人だけでなく、すべての人が幸せに生きることが福祉の基本だと思ひます。そのためには、特別なことをするより身の回りで誰かの幸せの

ために動いたり考えたりすることが大切だと思いました。

そんな思いがあつて、福祉委員長として全校のみんなに「ありがとうの花」を書いてもらうことを一番の活動に決めました。まず、古川中学校の中に幸せの種を蒔きたいと考えたからです。

一カ月に三回毎月「今月のありがとうの花を咲かせた人」を放送で発表しました。聞いた人も幸せな気持ちになれるように二人一人の名前をはつきりと聞き取りやすいように読むことを心がけました。楽しく聞いてもらえるように校長先生にも協力していただいて親父ギャグなども入れました。

「ありがとうの花」の活動もみんながその価値に気づいてくれて、8月には百人の人が書いてくれました。名前を読むのは大変だったけどとてもうれしかったです。これから全校のみんなが、ふだんの生活の中で周りの人のことを思つて気軽に福祉活動ができるそん

な古川中学校にしていきたいと思っています。そして私もこれからも進んでボランティア活動に取り組んでいきたいと思っています。



れいさん、これからもよろしく

古川中学校三年 谷口加良子

「れいさん、こんにちは。おじいちゃんが鮎とつてきたよ。」

近所に住むれいさんのところに私は時々こんな風に訪ねていきます。でも、れいさんは私のおばあちゃんではありません。小学校の時の総合的な学習の時間に、夏休みの間に近所のお年寄りと交流するという宿題ができました。そのときから仲良くしてもらっている近所のおばあちゃんです。

れいさんは犬が大好きで犬を飼つてみえるので一緒に散歩をしながら、思ひ出話や自分のことをいろいろ聞かせてもらいました。夏休みの間にとっても仲良くなり、今でも時々話をしたり、お裾分け

そしてこれからもたくさんのおりがどうを集めていき、思いやりにあふれる古川中学校や地域を作つていきたいと思っています。

を持つていたりしているのです。とても喜んで下さるので私も幸せな気持ちになります。学校でいやなことがあつたりしたときも一緒に話したり、散歩したりしていると忘れてしまいます。

また、私には八十九歳になるひいおばあちゃんがあります。岐阜に独りで住んでいます。ひいおばあちゃんは昔教員をしていたので、学校のことをいろいろ聞いてくれたり、勉強のことも教えてくれたりします。また、私が小学生の頃は運動会の応援に来てくれたこともありました。私たちも家族で二カ月に一度くらいは会いに行っていました。



そんな大好きなひいおばあちゃんでしたが今年の二月に脳の中のとて細い血管が切れて、集中治療室に一週間入っていました。命は助かったのですが、足が弱くなり歩けなくなつてしまいました。また、物忘れがひどく自分の住所も思い出せなくなりました。二カ月入院して毎日リハビリをし、名前や住所が思い出せるようになり、少し歩くこともできるようになりました。でも、私がお見舞いに行ったとき、前のおばあちゃんとは違つてぼーっとしていたり、人の名前がでてこなかったりしてなんか変だなあと思いました。それは認知症になつたからだと思

から聞きました。それで私は認知症のことを調べてみました。認知症とはいろいろな原因で脳の細胞が死んでしまい脳が司令塔の役目をできなくなり様々な障害が起きたり、生活する上で支障が起きたりした状態が六カ月以上継続している状態を指すそうです。認知症にもいくつかの種類があり原因や症状は様々だそうです。

しかし、その原因の一つに人との交流がないあるいは少ないことがあるのだそうです。田舎では近所の人との交流も多く近所は知っている人ばかりなので挨拶したり関わりを持つたりすることができません。しかし、都会に住んでいる人は隣にどんな人かわからないことが多いそうです。昔の日本のように向こう三件両隣がまず、仲良く交流できるようにするといいいのだそうです。

認知症患者は10年後には日本中で約700万人になると言われています。認知症になるのを防ぐ

には畑仕事や編み物、縫い物などやることがある、孤独にならないさせない、一日に数人と会話をすることがよいのだそうです。田舎の良さを生かし地域ぐるみでコミュニケーションのとれる社会にしていくことが大切だと思います。これから私は私のおじいちゃん

考えて行動する大切さ

神岡中学校 三年 多田 怜花

将来、看護師になりたいと思っ
ている私にとって、今年の夏休みに
飛騨市民病院で行われた看護
体験は、とても有意義なものにな
りました。それは、ニュースや新
聞で高齢者や障がい者の介護に
おいて、暴行・虐待に至ってしま
った事件を多く目にするなかで、
私が目の当たりにした市民病院
の看護師の姿、そして教えていた
だいたことは、どれも暴行、虐待
などとはかけ離れた、患者を幸せ
にする看護だったからです。

おばあちゃんともたくさん話をし
て、れいさんも今まで以上に声
をかけたがり、一緒に散歩に行ったり
していこうと思います。れいさん、
これからもよろしくお願いしま
す。私の周りの友達にも声をかけ
て仲間が増えていったらうれし
いと思います。

私はこの体験のなかで「患者を
幸せにする看護」についてそのヒ
ントを三つ見つけることができました。

一つ目は、誰に対しても、どんな
病状であっても同じように接する
看護や介護を心がけることです。
看護体験では療養型病床に配属
されました。そこには、自分一人
では動けず、人の力を借りないと
生活できない方がいらっしやいま
した。元気な私の祖母とは全く違
うお年寄りにどのように接した



らよいのか、最初はとまどいまし
た。患者さんの中に、脳梗塞で入
院され、さらに脳出血を発症し、
病状が重くなった方がいらっしや
いました。その方は、高齢であつた
ため体力的に手術が難しく、家
族も手術をあきらめなければな
らず、回復の見込みがあまりない
と担当の看護師さんが話されま
した。私は、その方に看護師さん
が口腔ケアをしている所を見学
させてもらいました。意識がな
く、声をかけても返事は当然返つ
てきません。それなのに、看護師
さんは「口腔ケアしますね。」「気
持ちいいですか。」などと優しく
声をかけてみえました。看護師さ

んのこの姿を見たとき、たとえばんな病状の患者であろうと目の前の看護師さんの接し方は、何も変わらないのだろうと思いましたが。

二つ目は、全て自分で看護をするわけではないということです。患者の様子・状態をみて、手を動かすことができる方には、最初は自分で歯磨きをさせて、その後で磨き足りない部分を磨いていました。食事の時も、自分で食べることができず方には自分で食べるようにされていました。「今できている事も自分で出来なくなってしまうから、患者さんの出来る事はやってみてもらいます。」と看護師さんはおっしゃっていました。私は今まで患者に対してとにかくできることをすべてやってあげることがよい看護であると当然のように思っていました。しかし、それは違っていました。患者の手助けには、あえてこちらが手を出さず、患者さんにやってもらう方法もあるとい

うことがわかりました。

三つ目は、先入観で決めつけず、患者さんとふれあう中での相手理解を大切にすることです。患者さんとふれあう前、私は心の中で、「お年寄りの方だし、病気中だから会話なんてできないだろう。」と思っていました。しかし、この先入観は、実際にふれあってみるとすぐに消えました。どの方も話しかけると明るい表情になり、話すことがうれしいのではと思ってしまうくらい言葉が返ってきました。看護体験の中で私が見た看護師の方々は、どの方もふれあう中の相手理解を大切にしている姿でした。何もわかっていないのに相手のことを決めつけていた自分を見直すことができました。

さて、私には大好きな祖母がいます。これまでも、私なりに祖母のことを考えていましたし、もちろん今後も考えていくでしょう。買い物へ行くときは自分が荷物を持つでしょうし、話すときは、祖母のわかりやすそうな言葉をなるべく使うと思います。祖母のことはできるだけ細かい所までを考えていきたいと思えます。しかし、看護体験で見つけた三つのヒントをもとに、「おばあちゃん、きつとこうよね。」と決めつけ、私が全てやってしまうのではなく、少し手助けしながら「これならできる?」と、祖母が自分でできることは大切にしたい、と思うようになりました。

介護の現場を体験して

山之村中学校二年 上家 美桜

看護体験で見つけた三つのヒントは、どれも看護師さんが患者に対して「考えて行動」しているからできていました。それが、「患者を幸せにする」のだと思います。私も普段の生活の中で、相手に対して「考えて行動」することを目指します。そして「患者を幸せ」を実現する看護師になるという大きな夢を実現させたいと思います。

「私は、絶対看護師だけにはなりたくなかったの。」

八月のはじめ、私は三日間の職場体験のため、飛騨市民病院にお世話になりました。今の言葉は、そこで、私たちの指導をして下さった、ある看護師さんの一言でした。(だったら、どうして看護師になっただろう)私は不思議に思っていました。

私が職場体験に病院を選んだのは、医療の現場やお年寄りの介護に興味があったからです。以前、「たんぼぼ苑」には訪問したことがあり、中で歌や劇を披露したり、入所者の方とお話ししたりするなど、いろいろな体験をさせていただきました。

今回は、私もこれまで何回かお世話になった市民病院の仕事を

体験することで、今までよく知らなかった看護師さんの姿をこの目で見つめ、自分の将来を見つめたかったというのが、体験先を決めた理由です。

体験実習日初日。私は、バスに乗る前からドキドキしていました。(どんな仕事をするのかな)と思いい、自分がその仕事がうまくつとまるだろうか、と心配していたのです。それと同時に期待もありました。山之村という土地柄、地域の方、特にお年寄りの方と接する機会は多く、私はその多くの方と会話することも苦もなくできていたので、(そういう機会があるといいな)と、少し楽しみでも



ありました。簡単に言うと、(まあ、何とかなるだろう)と、少し軽く考えていたのです。

院内を見学した後、どんな方が入院しているか、看護師さんが案内してくれました。その中で、私は患者さんの手足を洗うのを手伝いました。意識が無い方で、どれくらい洗えばいいのかな、痛いか。すごく心配で難しかったです。それ以外に、入浴介助の手伝いをしました。服をぬがせて、お風呂からあがった方の体をふき、頭をかかわかす。という事を友達と二人でしました。初めは看護師さんのやるのを見ていて、すごく速くてびっくりしました。実際手伝ってみると服をぬがせたり、着せたりするのも、ドライヤーの温度を調節するのもとても大変でした。

二日目。初日と同じように朝のバスに乗り、病院へ向かいました。一日目に体験内容を知ったので、緊張よりもがんばりたいという

気持ちのほうが大きかったです。

二日目は、さらに介助が必要な方のお世話をしました。食事も口からはとれず、のどやお腹からとる方の朝食のお世話やおむつ交換などをしました。朝ご飯はのどやお腹から入れるものだったので、どろどろした、とても栄養価の高いもの。お昼ご飯は歩いたり、話したりできる方に、病院の方が作ったお昼ご飯を届け、食べさせてあげる事をしました。なかなか上手く口の中に入れる事ができなかったり、食べてもらえなかったりしてとても大変でした。

三日目は一日目、二日目と同じ事をし、三日間の職場体験が終わりました。その中で、私についているいろいろな事を教えてくださったある看護師の方が、「私は血を見る事ができなかつたから絶対看護師だけにはなりたくなかつたの。」とさらっと言われました。でも、大好きなおじいさんが倒れた時「何とか助けて、治してあげた

い。」と必死で考え、勉強を重ねて看護師になったという事でした。私自身、そんな強い思いがあるわけでもなく「何とかなく」と考えていたので、その話を聞いてとてもショックを受けました。

今後、日本はさらに高齢化が進むという話を聞きました。健康なまま年をとっていきける人もいると思いますが、介助を必要とする人も増えていくでしょう。という事は、介助する人もこれまで以上に仕事が大変になっていくという事です。又、施設も更に増やさなければいけません。

三日間の体験を通して、私は、介護する現場の厳しさ、大変さ、そして何よりも「やりがい」を感じました。私自身、その仕事に耐えられるかどうか不安ですし、他の選択肢もありますが、どのような職業についても、人を明るく、笑顔で支えていける人になりたいと思います。

飛騨市社会福祉協議会長表彰

民生委員児童委員（7年以上）	
氏名	地区名
稲葉 眞智子	古川地区
清水 幸子	古川地区
中川 徹哉	古川地区
佐野 光弘	古川地区
牛丸 秋憲	古川地区
中谷 忠男	河合地区
宮前 久衛	宮川地区
沖 泰子	神岡地区
都竹 隆雄	神岡地区
中村 幸子	神岡地区

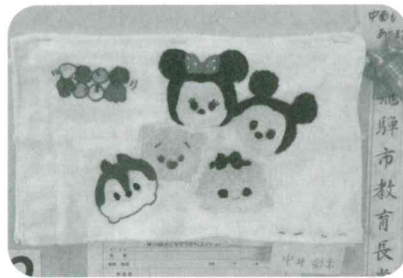
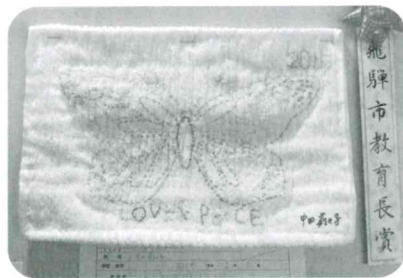
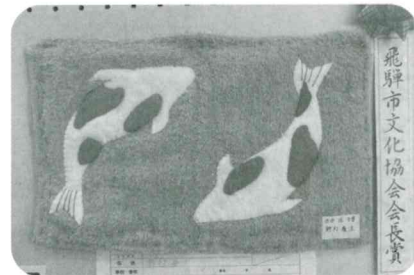
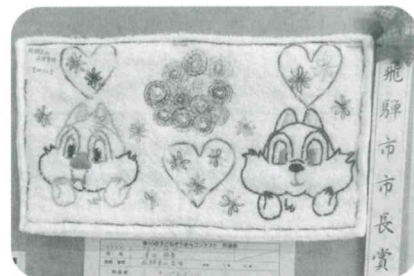
社会福祉施設等職員（10年以上）		社会福祉施設等職員（10年以上）	
氏名	法人名	氏名	法人名
田中 教恵	(福) 吉城福祉会	倉 沙耶可	(福) 吉城福祉会
古田 信弘	(福) 吉城福祉会	澤 芳直人	(福) 吉城福祉会
牛丸 多江	(福) 吉城福祉会	西 分美里	(福) 吉城福祉会
岩佐 美保子	(福) 吉城福祉会	古田 里美	(福) 吉城福祉会
春見 和美	(福) 吉城福祉会	田中 沙耶香	(福) 吉城福祉会
下堂前 ハナエ	(福) 吉城福祉会	小林 真奈美	(福) 吉城福祉会
池田 倫也	(福) 吉城福祉会	杉原 祐子	(福) 吉城福祉会
梶屋 典子	(福) 吉城福祉会	倉 志賀子	(福) 吉城福祉会
船坂 志乃	(福) 吉城福祉会	古田 洋子	(福) 吉城福祉会
内海 良介	(福) 吉城福祉会	大村 結子	(福) 吉城福祉会
泉原 美由紀	(福) 吉城福祉会	蒲 滝江	(福) 吉城福祉会
加藤 貴哉	(福) 吉城福祉会	沖村 かな	(福) 飛騨古川
細洞 聡子	(福) 吉城福祉会	木下 直美	(福) 飛騨古川
井戸 匠子	(福) 吉城福祉会	横江 佳奈子	(福) 飛騨古川
守田 裕子	(福) 吉城福祉会	松井 幸子	(福) 飛騨古川
洞口 ひとみ	(福) 吉城福祉会	田嶋 雅子	(福) 飛騨古川
洞垣 明菜	(福) 吉城福祉会	森本 真弓	(福) 飛騨古川
吉澤 由貴子	(福) 吉城福祉会	小村 真奈美	(福) 飛騨古川
松井 美樹	(福) 吉城福祉会	今井 香	(医) 古川病院
清水口 富美恵	(福) 吉城福祉会	横井 和子	(医) 古川病院
田中 しのぶ	(福) 吉城福祉会	野村 愛	(医) 古川病院
沖村 美記	(福) 吉城福祉会	橋本 悠子	(医) 古川病院
倉坪 雅美	(福) 吉城福祉会	船坂 波子	(医) 古川病院
小林 まり	(福) 吉城福祉会	小野 芳子	(医) 古川病院
中田 美由紀	(福) 吉城福祉会	嶋田 雪江	(医) 古川病院
井上 智美	(福) 吉城福祉会	谷開 恵子	(医) 古川病院
谷井 美絵子	(福) 吉城福祉会	中村 佳乃枝	(医) 古川病院
相地 寿子	(福) 飛騨古川	安念 悦子	(医) 古川病院
上谷 浩子	(福) 飛騨古川	谷口 美千代	(医) 古川病院
中谷 奈織美	(福) 飛騨古川	前田 二三代	(医) 古川病院
嶋田 千登勢	(福) 飛騨古川	小林 久美子	(医) 古川病院
菅 沼 恵	(福) 飛騨古川	前川 静	(医) 古川病院
小林 初美	(福) 飛騨古川	船坂 昌弘	(福) 社会福祉協議会
沖田 依子	(福) 飛騨古川	瀬木 紘丈	(福) 社会福祉協議会
水川 一喜	(福) 飛騨古川		

社会福祉施設等職員（10年以上）	
氏名	法人名
小瀬 通子	(福) 神東会
鍛冶 美佳	(福) 神東会
橋爪 輝子	(福) 神東会
山口 富久美	(福) 神東会
坂田 佐代子	(福) 神東会
巢之内 梨恵	(福) 神東会
高松 恵子	(福) 神東会
中林 桂子	(福) 神東会
稲城 博美	(福) 神東会
小倉 隆史	(福) 神東会
霜出 喬嘉	(福) 神東会
松崎 秀樹	(福) 神東会
佐藤 真治	(福) 神東会
山口 恭子	(福) 神東会
川島 百合子	(福) 神東会
廣洞 幸子	(福) 神東会
垣内 雄大	(福) 神東会
葛谷 恵子	(福) 神東会
高森 夕美子	(福) 神東会
畑 寿美子	(福) 神東会
山本 真由美	(福) 神東会
大山 幸紀	(福) 神東会



第10回 子どもぞうきんコンテスト

11月8日(日)、古川町総合会館において「第10回子どもぞうきんコンテスト」の表彰式が行われました。このコンテストは「もったいない」という気持ちと手仕事の大切さを子どもたちに感じてほしいという思いから開催されており、小中高校生の児童・生徒が、アイデアと使いやすさを考えてぞうきんを作成しました。今年は、飛騨市・高山市と県外の子供達364名に応募してもらいました。応募されたぞうきんは、本会をはじめ、高山市社会福祉協議会や福祉施設等に寄贈していただき、様々な福祉事業で活用されます。なお、各賞を受賞された皆さまは下記のとおりです。



- | | |
|--------------|----------------|
| 飛騨市長賞 | 澤田 朋香 (飛騨高山高校) |
| 飛騨市教育長賞 | 中井 彩未 (日枝中学校) |
| 飛騨市教育長賞 | 中田 莉々子 (古川中学校) |
| 飛騨市社会福祉協議会長賞 | 外箴 真央 (江名子小学校) |
| 飛騨市文化協会会長賞 | 野村 慶次 (古川中学校) |

■優秀賞

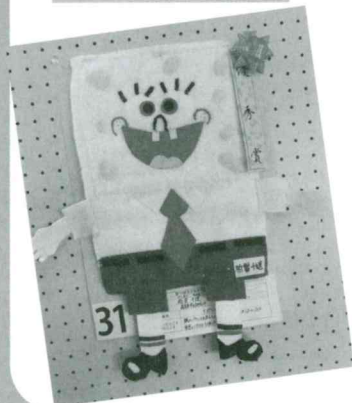
- | | |
|----------|-----------------|
| 小学生低学年の部 | 板屋 七楓 (古川小学校) |
| 小学生高学年の部 | 小林 明日香 (古川西小学校) |
| 中学生の部 | 柏當 千遥 (神岡中学校) |
| 中学生の部 | 野村 佳世 (古川中学校) |
| 高校生の部 | 岩垣 江里子 (飛騨高山高) |

■アイデア賞

栗本 遥生 (新宮小学校)

■特別賞

岸本 梨紗 (福井県・北日野小学校)
山田 翔生 (大阪府・東中学校)





親子お楽しみ会

10月24日(土)に市内のひとり親世帯を対象に親子お楽しみ会を開催しました。これは毎年市から受託して開催するもので、今年度は21組の親子が参加され、ナガシマスバーランドへ行ってきました。

当日は天気も良く、遊園地でいろいろなアトラクションを楽しんだり、お買い物をしたりと、楽しく過ごしていただきました。



災害ボランティアセンター設置運営訓練



10月25日(日)下呂市金山町において、岐阜県社会福祉協議会による災害ボランティアセンター設置運営訓練が実施され、飛騨市社会福祉協議会職員が参加しました。災害ボランティアセンターは、災害が起きた際に、ボランティアと被災された方を調整し、適切にボランティア活動ができるように設置されるものです。今回は、実際に災害が起きた時を想定し、受付・調整・説明、資材貸出に分かれ、市内外からのボランティアを被災された世帯に派遣する訓練を行いました。

職員もやはり慌ててしまいます。災害ボランティアセンター立ち上げ・運営には、市民の方の協力も必要だと感じました。



イクメンクッキング



11月15日(日)古川町総合会館において、イクメンクッキングを開催しました。日頃お母さんよりも接する時間が少ないお父さんと作業や料理を一緒にしながら過ごしていただくという計画しました。段ボールの内側にアルミホイルを貼った「段ボールオーブン」を製作し、生地から手作りしたピザを焼きました。

手作りのオーブンで手作りのピザをお父さんと一緒に作り、食事にはお母さんや家族も合流して、おいしく楽しい時間を過ごしました。参加された方からは、「段ボールオーブンを家でも作ってみたい」「お父さんと料理ができて楽しかった」という声が聞かれました。これを機会にお父さんとお子さんのふれあいの時間が増えるといいですね。



介護支援講座



11月11日(水)、11月12日(木)に介護支援講座を開催し、実際に介護をされてみえる方から子育て中の方まで幅広い年齢層の方が出席されました。最初にアロマ体操でリラクゼーションから講座に入りました。人の嗅覚は個人差が非常に大きいため、同じ香りでも感じ方はそれぞれであり、体調や気分によっても香りの好みは変わってきます。今回の講座では、「ストレスケア」のための香りの活用法の紹介ということで、「リラククス」「リフレッシュ」の二つから選択しマッサージオイルを作りました。マッサージオイルを作った後二人一組でお互いにハンドマッサージを行いました。マッサージのポイントとしては、なるべく温かい手で相手の呼吸に合わせて確認しながらゆったり行うと気持ちが良いそうです。参加者からは、精油の購入場所や保存方法、使用期限の質問もあり、自宅に帰ったら家族にやってみようなどの感想が聞かれました。

募集

飛騨市介護サポーター募集中です!

***対象者 …… 飛騨市介護保険第1号被保険者の方
(市内に住所を有する65歳以上の方)**

市内の介護施設などでのボランティア活動を通じて、自らの健康増進や介護予防を図り、いつまでも地域でいきいきとした暮らしができることなどを目的とした「介護サポーター制度」が今年の7月よりスタートし6か月が過ぎました。これはボランティア活動の時間をポイント化し、貯まったポイントに応じて商品券と交換できる制度です。

ぜひ、介護サポーターに登録してボランティア活動をしてみませんか?。介護サポーターの申込み・お問い合わせは飛騨市社会福祉協議会までご連絡ください。

***受入施設は決まっています**

介護サポーター登録に必要なもの

- * 印鑑(シャチハタ以外)
- * 介護保険被保険者証
(随時募集中です)



今月のクイズコーナー

正解者の中から抽選で、山之村牧場のソーセージセットを4名様にプレゼントします。
どんどんご応募下さい。



【応募締め切り 平成28年1月15日(金) 消印有効】

※ハガキに住所・氏名・答えを書いて下記へお送りください

〒509-4221

飛騨市古川町若宮二丁目1番66号

飛騨市社会福祉協議会 クイズ係まで

※景品の発送のため、住所・氏名は正確にお書きください。(個人情報厳重に管理します。)なお、当選者は次回の福祉ひだでお名前のみ掲載させていただきます。

<10月号 クイズ当選者>

- ◎大畑 治一様 ◎谷口ちえ子様
- ◎桜枝 恵子様 ◎佐藤 綾子様
- ◎清水 真雪様



飛騨市内に登録されているサロン団体はいくつあるでしょう?



ヒント
裏表紙をよ〜く見てね!



各種相談事業等の予定

～秘密は必ず守ります～

秘密厳守!

相談は無料!



弁護士による 無料法律相談 13:30～16:30

法律問題でお悩みの方を対象に、弁護士による無料法律相談を行っています。
1日6名の方まで相談を受け付けております。
※事前に電話予約が必要となります。

1月21日(木) ハートピア古川
2月18日(木) 神岡町ふれあいセンター

であいサポートセンター 「結婚相談」

■電話で随時受付を行っています
TEL080-2666-4053

心配ごと相談

■古川会場(ハートピア古川)

1月10日(日) 10:00～12:00
25日(月) 13:30～15:30
2月10日(水) 10:00～12:00
25日(木) 13:30～15:30

■神岡会場(神岡町公民館)

1月8日(金) 18:00～20:00
24日(日) 10:00～12:00
2月12日(金) 18:00～20:00
28日(日) 10:00～12:00

■宮川会場(宮川町保健センター)

1月15日(金) 13:00～15:00

■河合会場(河合町公民館)

2月10日(水) 19:00～21:00

寄付御礼

飛騨市社会福祉協議会にご寄付いただきありがとうございます。頂戴した尊い浄財は、地域福祉の為に有効に活用させていただきます。

(平成27年9月16日～11月30日受付分)

飛騨古川盆踊り同好会

会長 玉腰 久 様(古川町) 二〇,〇〇〇円

山田 哲男 様(神岡町) 二〇,〇〇〇円

匿名 様(神岡町) 三〇,〇〇〇円

籾手芸サークル 様(古川町) 一四,〇〇〇円

特別会費にご協力いただき、誠にありがとうございます。前回の報告以降納入分。(敬称略)

◎(南)三和砕石 五〇,〇〇〇円

ランチボックス会員募集

ボランティアグループ「ランチボックス」は古川町で給食サービスを希望されたひとりぐらし高齢者の方や、高齢者世帯の方へお弁当を配達する活動を行っています。年に17回の給食サービスのお弁当を利用者の家、一軒一軒を訪問し、「お元気ですか?」と声を掛けながら配達しています。昼食または夕食の配達で、運転免許をお持ちの方ならどなたでも活動していただけます。ぜひ、ランチボックスに入会して、ボランティア活動を試みませんか?

ふれあいサロン交流会

社会福祉協議会が「ふれあいサロン」活動に取り組みはじめて、7年目を迎えます。現在、飛騨市内には、登録されているサロンが24団体あります。サロン活動をしている方たちが集い、サロン活動の意義や魅力を共有化し、さらなる活動の活性化を図るため、11月19日(木)に「サロン交流会」を開催し、約100名の方が参加されました。

当日は、古川町杉崎地区で活動中の「サロンつくしの会」による大正琴の演奏や健康体操、『マッキー&のりか』による寸劇などで、おもいっきり笑い、楽しい時間を過ごしました。

また、会場には、サロンの紹介コーナーを設け、サロンで作成した手芸作品等の掲示もしました。



ふれあいサロンの メリット

1. 楽しさ 生きがい 社会参加
2. 仲間づくり 人と人との絆の広がり
3. 閉じこもり予防
4. メリハリのある生活 適度なこころの刺激
5. 日常生活の情報交流の場
6. サロン保険の加入により、安心して活動をして頂けます
7. 社会福祉協議会より活動費の助成があります

ご相談ください

- 「サロンを作りたいので説明してほしい」
- 「サロンで何をしようか困っている」
- 「サロンでボランティアをしたい」
- 「特技をいかしてサロンで○○を教えてみたい(話したい)」

関連事業についてのお問い合わせは

飛騨市社会福祉協議会

TEL0577-73-3214 FAX0577-73-0711

飛騨市社協 検索

〒509-4221 飛騨市古川町若宮二丁目1番66号

■URL <http://www.hidasi-syakyo.net/> E-mail : info@hidasi-syakyo.net

*この機関紙は、歳末たすけあい募金の配分により発行しています。



ひだ守ちゃん